

祝 卒業

3月7日、本校の卒業式（第37回卒業証書授与式）が挙行されました。クラス担任が呼名するのを聞きながら、卒業生一人一人の表情を見ていました。この3年間、コロナ禍をよくぞ乗り越えこの日を迎えました。卒業生のこれまでの努力に敬意を表するとともに、身近で支えた保護者の皆様の感慨もひとしおのことと拝察した次第です。

思い返せば、今春卒業された皆さんの高校生活のスタートは、新型コロナウイルス感染症により臨時休校や分散登校によるものでした。その後もいろいろと我慢や制限がされる中、本来できるはずのことができなかったこともあったと思います。それでも、今も終息していないコロナ禍の中、最後まで努力する姿勢を持ち続けました。私たち教職員は、そんな皆さんの姿の中に、高校生の逞しさ、健気さ、ひたむきさを見ていました。

さて、式辞では「三つの念」（「信念」・「丹念」・「執念」）について話をさせていただきました。

「信念」・・・目標や目的を実現するためには確固たる「信念」をもつことが重要。

時として「千万人といえども吾ゆかん」の気構えで挑んでいってほしい。

「丹念」・・・高度で多様、スピード感溢れる現代社会を生きていく中で、正しい

判断をしていくためにも、的確な情報を「丹念」に収集することが肝要。

また、いろいろな人の助言に対し「丹念」に、そして謙虚に耳を傾ける

ことは、揺るがぬ「信念」をもつ上でも欠かせない。

「執念」・・・たとえ困難な局面に遭遇しても、目標・目的を達成するために

「執念」を燃やしてほしい。

加えてもう一つ、「感謝する気持ちを忘れない」ということ。「人に何かしてもらっても、当たり前のように考えるようではいけない。感謝することの気持ちを無くした時、人は静かにその人のもとを去っていく。」このような趣旨の話をしました。

卒業生の皆さんは終始立派な態度で式に臨んでいました。

二十一世紀の主演である卒業生一人一人の前途に幸多からんことを祈ります。